

試合会場等における休憩所設営について

試合会場等における休憩所の設営に関する注意点をまとめました。注意事項として共有を図りますので、各カテゴリーでの適切な運用にご協力をお願いします。

■ 休憩所の設営について

- 試合会場には他のチームも来場しますので、できるだけ譲り合ってコンパクトに設営できるように心がけましょう。特に多数のチームが来場するとき、悪天候・日射が厳しい日などは場所の取り合いになる可能性があります。
- 全ての荷物は整理整頓して置きましょう。選手には基本的にスタッフが指導しますが、小学生の集団ということもあり、なかなか身につかないものです。お気づきの点は、スタッフにお伝えいただく、あるいは「きちんと片付いているほうが、良いチームに見えるよ」などと、子供たちへの前向きな声掛けをお願いします。
- 試合は気になりますが、休憩所が無人になることは出来るだけ避けるか、目の届く範囲にいるようにしてください。盗難防止（貴重品は必ず身に付けてください）や、物が飛んでいく、あるいは他から物が飛んできて備品が壊れた、などをある程度監視しておくことも必要です。

■ テントの設置について

- 基本的には悪天候の際の雨除け、日射が厳しいときに日陰を作る、というのが目的になります。テント設置が必要かどうか、スタッフ含めて適切に判断しましょう。小さなお子さんがいる場合や、日焼けが気になる、といったことへの配慮も必要です。その場合は当日スタッフと協議をしましょう。
- 簡易テントが風に煽られての事故は、大小問わず毎年多数発生しています。特に風対策として、以下を実施するように徹底してください。
 - ① 固定する：全ての足にペグを打つ、周囲のものに足を括りつける、ロープを張る…など（ロープを張る場合は、引っかかって転倒することがないように注意）
 - ② 固定できない場合は、重りをつける：足を重りで固定する、重りをぶら下げる…など（水を入れたペットボトルや、選手のカバンなどを利用しているケースもあります）
 - ③ 少しでも危険を感じた場合には、テントをたたむ：足が浮く、風で歪むなどの場合は撤去を判断しましょう。風が気になるが一時的に不在にする、などの際は、骨組みだけにするなど、最善の対応をしましょう。



起こり得る事故を未然に防止し、安全な運営ができるように、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

京都長岡ジョイフルフットボールクラブ